

はじめに

| | |
|-----|---|
| 著者 | 三戸 望 |
| 雑誌名 | 研究紀要 / 金沢大学附属中学校 |
| 号 | 63 |
| ページ | 0-0 |
| 発行年 | 2021-03-05 |
| URL | http://hdl.handle.net/2297/00061902 |



研 究 紀 要

第 6 3 号

Society5.0 を主体的に生きるための資質・能力の育成
—STEAM 教育を踏まえた教科等横断的プロジェクトの作成を目指して—

令和 3 年

金沢大学附属中学校

はじめに

金沢大学附属中学校
校長 三戸 望

本校では、平成 26 年度より 3 年間 E S D（持続可能な開発のための教育）に取り組み、平成 29 年度から 3 年間は伝統文化教育に取り組んでまいりました。それぞれ国立教育政策研究所の研究指定を受け、教科等横断的なカリキュラムの開発をしてきました。それらの成果は文部科学省教育課程課編集の「中等教育資料 No970」や『「伝統や文化」に関する教育の性格と教材開発』にまとめてきました。

今年度からは金沢大学人間社会学域学校教育学類附属学校園全体の共通主題として、「Society5.0 を豊かに生きる資質・能力の育成」が設定され、それに則った研究を行うこととなりました。その中で幼稚園は「社会情動的スキルを育む教育」、小学校は「多様性を育む教育」、中学校は「新たな価値を創造する力を育む教育（STEAM 教育）」、高校は「グローバルリーダーを育む教育」、特別支援学校は「地域と協働し地域の中で自己実現を目指す教育」を行い、5 校園が金沢大学と協力して教育研究を行うこととなりました。

中学校が取り組む STEAM 教育は中央教育審議会初等中等教育分科会が令和 2 年 10 月 7 日に発表した『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（中間のまとめ）』によりますと、従来の所謂 STEM 教育（Science, Technology, Engineering, Mathematics）に A(Arts)を加えたもので、各教科の学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的教育とされています。特にこの中の A の解釈では様々な定義がされており、デザインと狭くとらえるものや、芸術、文化、経済等を加えた広範囲と捉えたものもあります。本校においては様々な教科において STEAM 教育に取り組むということで、A を広範囲で捉えるようにしております。

このような経緯を経て今年度の研究主題は「Society5.0 を主体的に生きるための資質・能力の育成—STEAM 教育を踏まえた教科等横断的プロジェクトの作成を目指して—」となり、令和 2 年 11 月 22 日に第 68 回教育研究発表会をオンラインで行いました。当日は 305 名の方に参加していただき、様々なご意見をいただきました。これらのご意見を参考にして、各教科で研究をまとめたのが、この紀要となります。本紀要をお読みいただき、本校の研究に対する忌憚のないご意見を賜ることができれば幸いに存じます。

最後になりましたが、本校の研究に懇切丁寧なご指導・ご助言をいただきました文部科学省視学官の東良 雅人先生に厚く御礼申し上げます。

令和 3 年 2 月